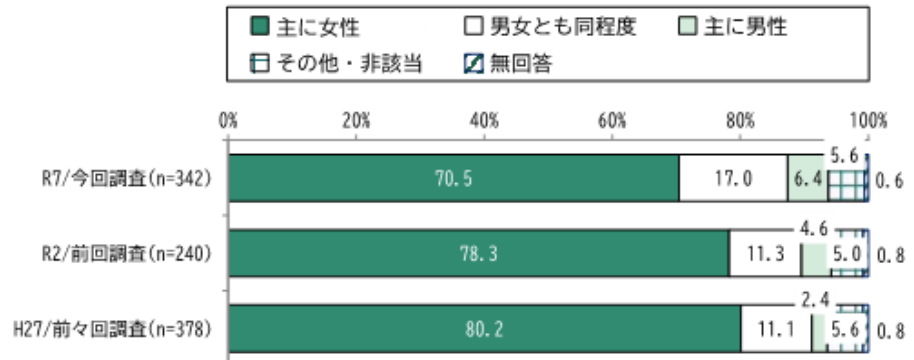


れいわ ねんど だんじょきょうどうさんかく せいかい
令和8年度 男女共同参画クイズの正解

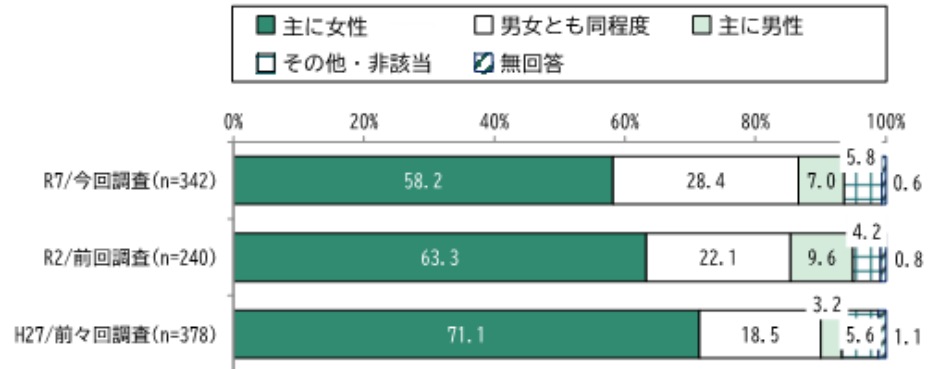
だいもん 第1問	だんじょきょうどうさんかく 男女共同参画ってなに？
せいかい 正解（こたえ）	③
かいせつ 解説（せつめい）	おとこひと おんなひと せいべつ かが ひひとり こせい のうりよく 男の人、女の人といった性別に関わらず、一人ひとりの個性や能力 だしあって ささえあって しゃかい ひがしかがわし を出し合って、みんなで支え合っていく社会のことです。東かがわ市 しみん じぶん かがや でも、すべての市民が自分らしく輝けるまちづくりをめざしています。 ※「内閣府主催の「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」 ちいき 地域シンポジウム（れいわ ねん たかまつし こうどうせんげん うえむら 令和7年、高松市）において、行動宣言する上村 いちろう ひがし しちょう しゃしんちゅうおう こうどうせんげんしよ 一郎 東かがわ市長（写真中央）と行動宣言書」

だいもん 第2問	そうじ せんたく 掃除や洗濯、ごはんの^{したく}支度などのおうちの^{しごと}仕事。東かがわ市^{ひがしかがわし}の^{ちょうさ}調査 (^{れいわ ねん}令和7年)では、^{だれ おも}誰が主にしているという^{けっか}結果だったかな？																																															
せいかい 正解（こたえ）	②																																															
かいせつ 解説（せつめい）	ひがしかがわし ちょうさ 東かがわ市の調査では、まだ「主に女性」が家事をしている割合が高 いですが、^{わか せだい ひと}若い世代（人たち）ほど「^{だんじょ ぶんたん}男女で分担すべき」という^{いしき}意識 が高まり、^{たか}実際に^{じっさい}洗濯や^{せんたく}後片付けを「^{だんじょ おな}男女とも同じくらい」に^{おこな}行う ^{かてい ふ}家庭も増えています。																																															
	令和7年 東かがわ市男女共同参画に関する市民意識調査結果より 図表 家庭での役割について（前回・前々回比較） （ア 掃除をする） 主に女性 男女とも同程度 主に男性 その他・非該当 無回答 <table><thead><tr><th>調査</th><th>主に女性</th><th>男女とも同程度</th><th>主に男性</th><th>その他・非該当</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7/今回調査(n=342)</td><td>59.1</td><td>28.1</td><td>5.8</td><td>5.8</td><td>1.2</td></tr><tr><td>R2/前回調査(n=240)</td><td>59.6</td><td>30.0</td><td>5.0</td><td>5.0</td><td>0.8</td></tr><tr><td>H27/前々回調査(n=378)</td><td>67.2</td><td>23.8</td><td>1.6</td><td>6.1</td><td>1.3</td></tr></tbody></table> （イ 洗濯をする） 主に女性 男女とも同程度 主に男性 その他・非該当 無回答 <table><thead><tr><th>調査</th><th>主に女性</th><th>男女とも同程度</th><th>主に男性</th><th>その他・非該当</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7/今回調査(n=342)</td><td>63.2</td><td>25.1</td><td>5.6</td><td>5.6</td><td>0.6</td></tr><tr><td>R2/前回調査(n=240)</td><td>67.5</td><td>19.6</td><td>7.5</td><td>4.6</td><td>0.8</td></tr><tr><td>H27/前々回調査(n=378)</td><td>75.1</td><td>15.9</td><td>2.1</td><td>5.6</td><td>1.3</td></tr></tbody></table>	調査	主に女性	男女とも同程度	主に男性	その他・非該当	無回答	R7/今回調査(n=342)	59.1	28.1	5.8	5.8	1.2	R2/前回調査(n=240)	59.6	30.0	5.0	5.0	0.8	H27/前々回調査(n=378)	67.2	23.8	1.6	6.1	1.3	調査	主に女性	男女とも同程度	主に男性	その他・非該当	無回答	R7/今回調査(n=342)	63.2	25.1	5.6	5.6	0.6	R2/前回調査(n=240)	67.5	19.6	7.5	4.6	0.8	H27/前々回調査(n=378)	75.1	15.9	2.1	5.6
調査	主に女性	男女とも同程度	主に男性	その他・非該当	無回答																																											
R7/今回調査(n=342)	59.1	28.1	5.8	5.8	1.2																																											
R2/前回調査(n=240)	59.6	30.0	5.0	5.0	0.8																																											
H27/前々回調査(n=378)	67.2	23.8	1.6	6.1	1.3																																											
調査	主に女性	男女とも同程度	主に男性	その他・非該当	無回答																																											
R7/今回調査(n=342)	63.2	25.1	5.6	5.6	0.6																																											
R2/前回調査(n=240)	67.5	19.6	7.5	4.6	0.8																																											
H27/前々回調査(n=378)	75.1	15.9	2.1	5.6	1.3																																											

(ウ 食事の支度をする)

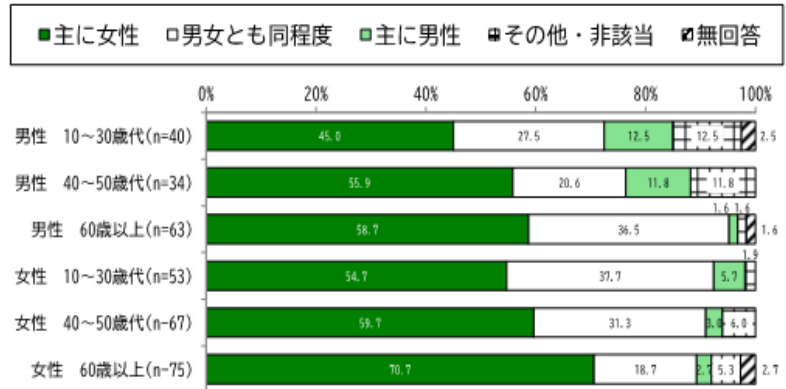


(エ 食事の後片付けをする)

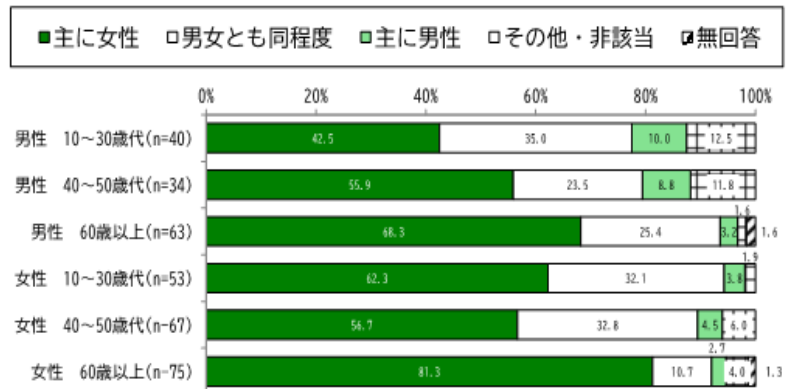


図表 家庭での役割について (性・年齢別)

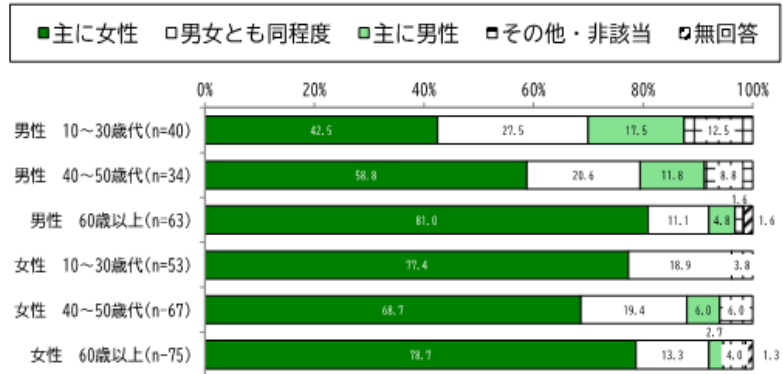
(ア 掃除をする)



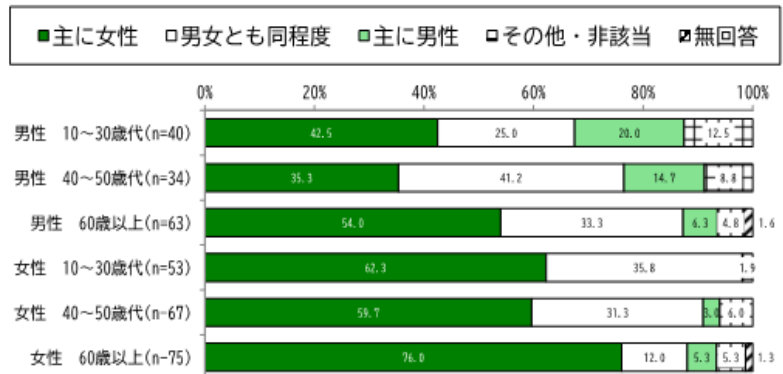
(イ 洗濯をする)



(ウ 食事の支度をする)



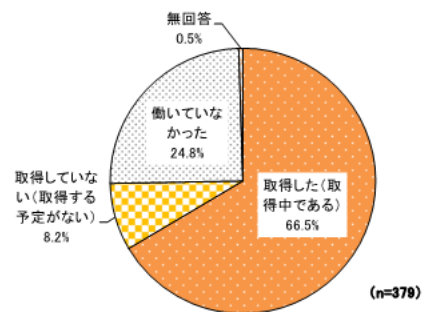
(エ 食事の後片付けをする)



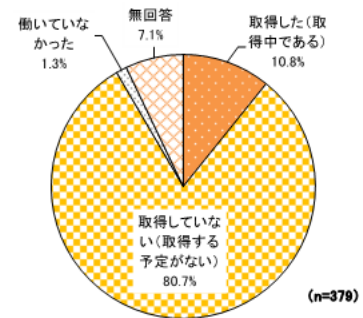
だいもん 第3問	あかちゃん ^う が生まれたときにお仕事 ^{しごと} を休 ^{やす} んで、あかちゃん ^{こども} や子どものお せわ ^{いくじきゅうぎょう} をする「育児休業」。ぜんこく ^{とう} のお父さんの取得率 ^{しゅとくりつ} は、令和6年には どれくらいになったかな？
せいかい 正解（こたえ）	③
かいせつ 解説（せつめい）	ぜんこく ^{だんせい} では男性の育児休業取得率（＝育児休業を取った割合）が きゅうそく ^ふ 急速に増えており、40.5%となっています。ひがしかがわし ^{しない} 東かがわ市でも、市内 にある企業 ^{きぎょう} などで男性が育児に参加しやすい職場環境づくり （はたらきかた ^{かいしゃ} 改革＝会社で働く人みんなが、「仕事」と「自分の生活」を どちらも大切 ^{だいせつ} にできるようにする取り組み）が進むように呼びかけを おこな ^{おこな} 行っているところです。
	全国調査 育児休業割合の推移 (%) 100 80 60 40 20 0 81.6 85.1 80.2 84.1 86.6 12.7 14.0 17.1 30.1 40.5 令和2年 令和3年 令和4年 令和5年 令和6年 ● 男性 ◇ 女性 資料:厚生労働省「雇用均等基本調査」

令和6年度 東かがわ市こども・子育てに関するアンケート 調査報告書より

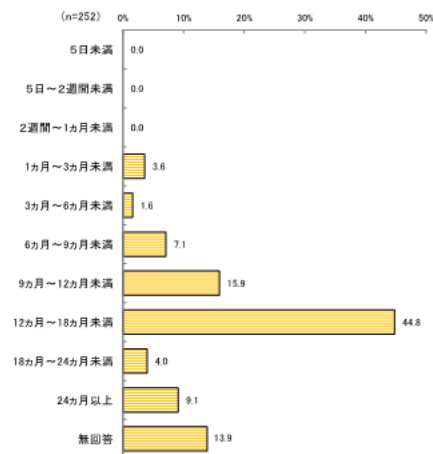
▼母親の育児休業の取得状況



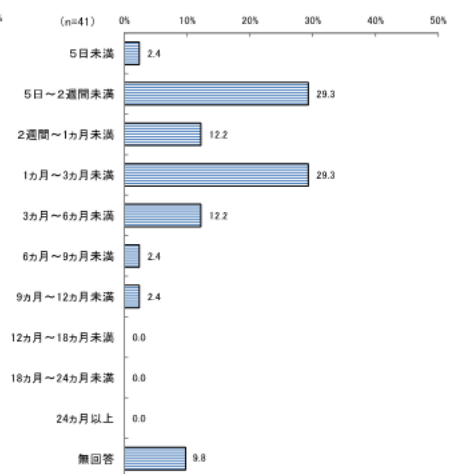
▼父親の育児休業の取得状況



▼母親の育児休業取得日数



▼父親の育児休業取得日数



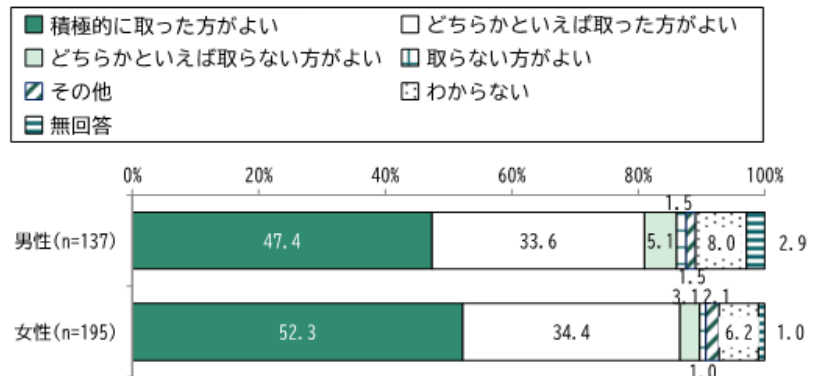
※このアンケートは、就学前児童、小学校5～6年生、中学校2年生の保護者の調査です。



だいもん 第4問	ぜんこく だんせい いっきゅうしゅとくりつ きゅうそう 全国では男性の育休取得率が急増しています。さらに進めるために だいせつ 大切なことは？
せいかい 正解（こたえ）	②
かいせつ 解説（せつめい）	ひがしかがわし せいど りかい すす 東かがわ市でも制度への理解は進んでいますが、実際に取得できてい る人はまだ一部の人たちです。制度を「社会実装」（＝世の中に役立つ かたち つか 形で使えるようにすること）ためには、職場の意識改革（＝かんが かんが を新しくすること）とセットで、だれ じゅうなん やす かんきょう ととの る「働き方改革」がひつよう 必要です。
	東かがわ市 育児休業の取得状況 図表 36 男性が育児休業（休暇）や介護休業（休暇）を取得することへの考え（前回比較） ア 育児休業 ■ 積極的に取った方がよい □ どちらかといえば取った方がよい □ どちらかといえば取らない方がよい ■ 取らない方がよい ■ その他 □ わからない ■ 無回答 0%20%40%60%80%100% R7/今回調査(n=342) 49.7 33.3 4.1 7.0 1.5 2.3 R2/前回調査(n=240) 35.8 37.5 7.9 12.1 2.9 2.1

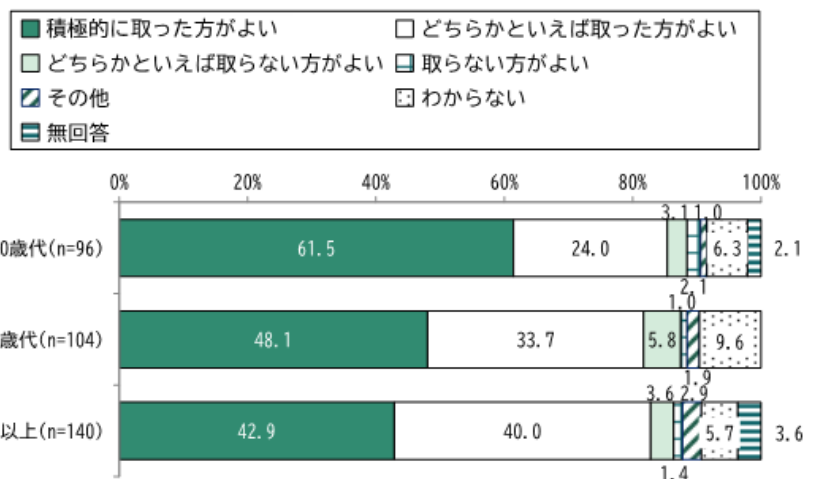
図表 37 男性が育児休業（休暇）や介護休業（休暇）を取得することへの考え（性別）

ア 育児休業



図表 38 男性が育児休業（休暇）や介護休業（休暇）を取得することへの考え（年齢別）

ア 育児休業



令和 7 年 東かがわ市男女共同参画に関する市民意識調査結果より

※介護休業（休暇）部分は省略しています。



だいもん
第5問

かがわけんぜんたい れいわねん じょせい げつきぎゅう だんせい
香川県全体のデータ（令和6年）で、女性の月給は男性を100%と
したばあい なん ていど
した場合、何%程度にとどまっているでしょうか？

せいかい
正解（こたえ）

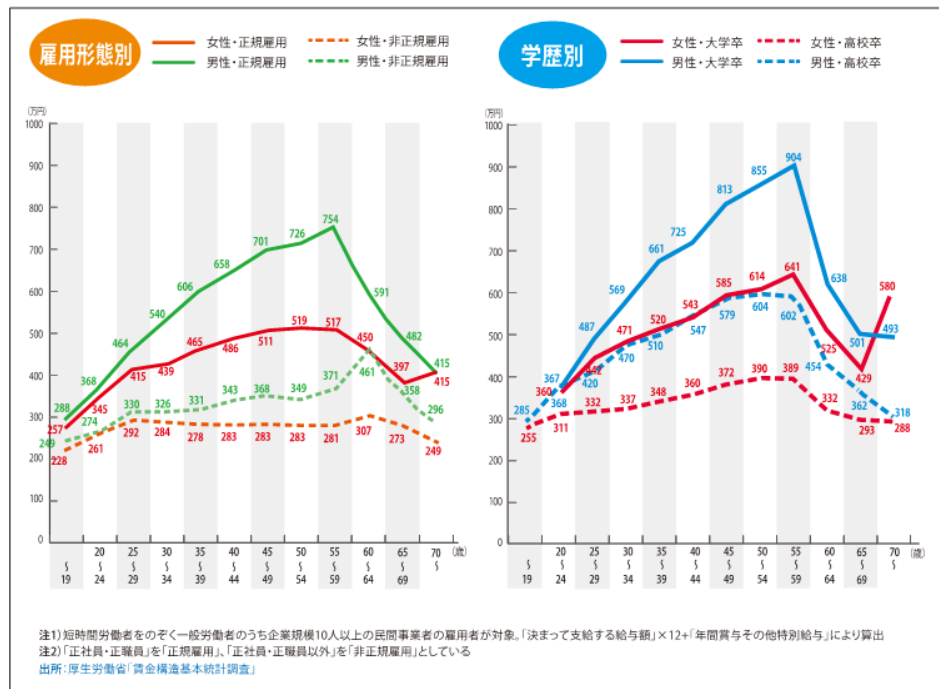
②

かがわけん じょせい げつきぎゅう かいしゃ かげつぶん きゅうりょう
香川県では、女性の月給（＝会社からもらう1ヶ月分の給料）は
だんせい やく ねんかんしょうよ きゅうりょう べつ かいしゃ
男性の約75%、年間賞与（＝毎月もらう給料とは別に、会社から
とくべつ かね やく
特別にもらえるお金（ボーナス））は約65%となっています。特に30
さいだい はたらきざかり かくさ おお じょせい ひせい きこよう き
～50歳代の働き盛りで格差が大きく、女性の非正規雇用（＝決まった
きかん はたら しごと はたら じかん みじか しごと はたら おお
期間だけ働く仕事）や「働く時間が短い仕事」で働くこと）が多
いことや、かんりしょくとうよう かいしゃ はたら ひと
管理職登用（＝会社で働く人を、リーダーやマネージャー
など上の立場の人に選ぶこと）のすくなさがはいけい
背景にあります。

全国調査

男女の雇用形労働態別・学歴別年収(2024(令和6)年)

かいせつ
解説（せつめい）



(独)男女共同参画機構(JGEPA)学習パネルより

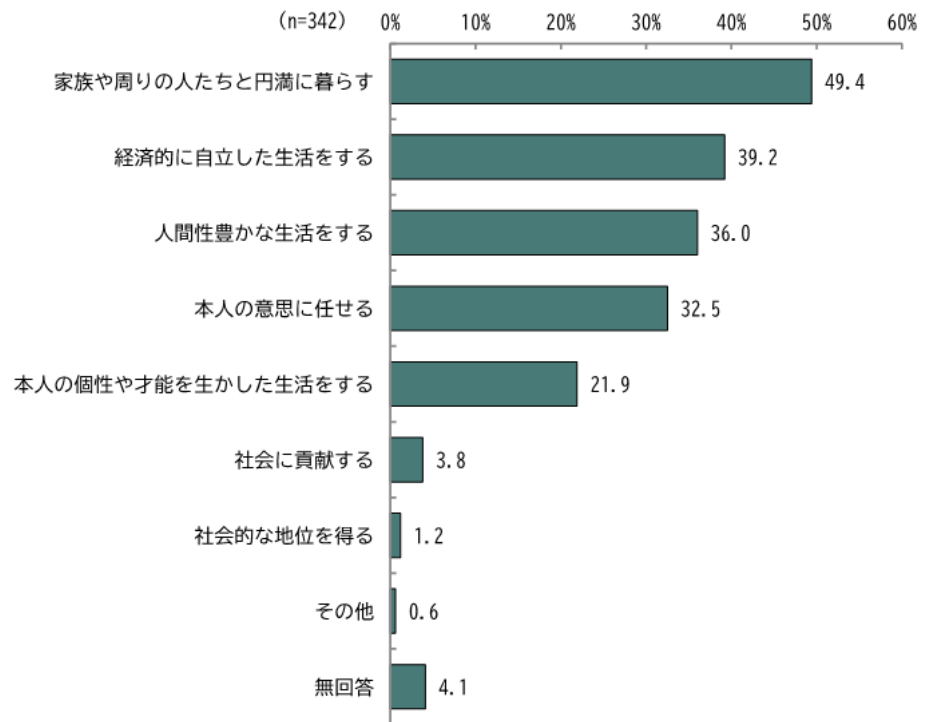
**香川県 年齢階級別きまって支給する現金給与額
及び年間賞与その他特別給与額(2024(令和6)年)**

区分	年齢	勤続 年数	所定内 実労働 時間数	超過 実労働 時間数	きまって 支給す る現金 給与額	所定内 給与額	年間賞与 その他特 別給与額	労働者数
	歳	年	時間	時間	千円	千円	千円	十人
男 女 計	44.6	13.1	161	11	327.1	297.2	807.5	22 978
～19歳	19.1	0.9	165	8	209.1	196.2	103.6	198
20～24歳	22.9	2.3	162	10	237.7	218.7	380.7	1 666
25～29歳	27.4	4.5	159	17	278.5	244.2	646.1	2 212
30～34歳	32.5	7.6	160	14	296.9	260.7	766.0	1 987
35～39歳	37.5	9.8	159	12	319.1	285.8	872.7	2 198
40～44歳	42.5	12.3	161	11	331.3	299.2	898.6	2 962
45～49歳	47.5	15.9	161	12	353.3	319.2	983.0	3 253
50～54歳	52.4	18.3	161	11	365.1	331.8	1029.6	3 209
55～59歳	57.3	19.6	161	10	379.9	350.0	935.5	2 631
60～64歳	62.4	19.6	160	8	308.8	289.7	698.2	1 538
65～69歳	67.2	16.9	163	6	266.2	253.4	373.0	648
70歳～	75.3	20.7	162	3	467.9	462.1	190.2	475
男	45.4	14.5	163	14	364.2	329.9	938.2	13 722
～19歳	19.2	1.0	167	10	217.3	201.8	104.0	135
20～24歳	22.7	2.5	164	13	246.2	221.8	440.6	786
25～29歳	27.6	4.8	161	18	291.8	252.6	709.8	1 203
30～34歳	32.6	8.2	163	16	320.6	281.7	913.3	1 136
35～39歳	37.7	11.0	163	15	351.3	311.9	1011.9	1 358
40～44歳	42.4	13.5	164	14	367.4	328.2	1022.7	1 845
45～49歳	47.6	17.6	163	15	390.2	350.1	1132.1	2 075
50～54歳	52.4	19.6	162	15	413.2	375.4	1206.2	1 913
55～59歳	57.5	22.4	163	12	449.3	415.9	1137.9	1 512
60～64歳	62.4	21.5	162	10	320.1	300.6	767.9	973
65～69歳	67.0	15.5	164	6	274.7	263.6	423.9	440
70歳～	75.8	17.3	164	3	555.6	550.6	144.9	345
女	43.4	11.0	157	7	272.2	248.7	613.6	9 256
～19歳	19.1	0.8	159	3	191.5	184.5	102.8	64
20～24歳	23.0	2.1	161	8	230.0	215.9	327.1	880
25～29歳	27.2	4.1	156	14	262.6	234.1	570.2	1 009
30～34歳	32.3	6.9	157	11	265.3	232.6	569.3	851
35～39歳	37.3	7.8	151	8	267.1	243.7	647.6	840
40～44歳	42.6	10.4	156	5	271.8	251.2	693.5	1 117
45～49歳	47.4	12.9	157	6	288.2	264.9	720.4	1 178
50～54歳	52.4	16.5	160	5	294.0	267.5	768.7	1 295
55～59歳	57.1	15.7	158	6	286.0	260.8	661.8	1 119
60～64歳	62.3	16.5	156	5	289.4	270.9	578.1	565
65～69歳	67.7	19.7	161	5	248.2	231.9	265.4	208
70歳～	74.2	29.7	156	2	234.3	226.4	310.7	130

厚生労働省「賃金構造基本統計調査より(※東かがわ市で着色)

だいもん 第6問	こどもへの期待について、東かがわ市の保護者が「男の子」に最も願う生き方の1位は何でしょうか？																				
せいかい 正解（こたえ）	①																				
かいせつ 解説（せつめい）	「男の子」には「経済的自立（＝自分のお金で、自分らしく生活すること）」、「女の子」には「周囲との円満（＝まわりの人と仲良くすること）」を願う傾向が1位となっています。大人が無意識に持つ「男の子だから」「女の子だから」という思い込みが、将来の子どもの選択肢を狭めている可能性があるようです。 図表 21 男の子の場合（全体／複数回答） <table border="1"> <thead> <tr> <th>生き方</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済的に自立した生活をする</td> <td>61.7</td> </tr> <tr> <td>家族や周りの人たちと円満に暮らす</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>本人の意思に任せる</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>人間性豊かな生活をする</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>本人の個性や才能を生かした生活をする</td> <td>20.8</td> </tr> <tr> <td>社会に貢献する</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>社会的な地位を得る</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	生き方	割合 (%)	経済的に自立した生活をする	61.7	家族や周りの人たちと円満に暮らす	36.0	本人の意思に任せる	33.0	人間性豊かな生活をする	22.5	本人の個性や才能を生かした生活をする	20.8	社会に貢献する	5.8	社会的な地位を得る	1.8	その他	0.6	無回答	5.0
生き方	割合 (%)																				
経済的に自立した生活をする	61.7																				
家族や周りの人たちと円満に暮らす	36.0																				
本人の意思に任せる	33.0																				
人間性豊かな生活をする	22.5																				
本人の個性や才能を生かした生活をする	20.8																				
社会に貢献する	5.8																				
社会的な地位を得る	1.8																				
その他	0.6																				
無回答	5.0																				

図表 22 女の子の場合（全体／複数回答）



令和 7 年 東かがわ市男女共同参画に関する市民意識調査結果より



だいもん 第7問	ひがしかがわし ちょうさ ぼうりよく う ひと 東かがわ市の調査で、暴力を受けた人のうち「どこにも・誰にも相談 しなかった」と答えた人はどれくらいいたかな？																																	
せいかい 正解（こたえ）	③																																	
かいせつ 解説（せつめい）	ざんねん ぼうりよく う はんすう ひと だれ そうだん 残念ながら、暴力を受けても半数の人が誰にも相談できていないと いう結果が出ています。ひがしかがわし ひとり なや そうだん 東かがわ市では、一人で悩まずに相談できる ように、相談窓口をお知らせすることや問題解決の手助けをする仕組 みがもっと使いやすくなるように取り組んでいます。 図表 69 相談相手（全体、前回比較／複数回答） <table><thead><tr><th>相談相手</th><th>R7/今回調査(n=24)</th><th>R2/前回調査(n=12)</th></tr></thead><tbody><tr><td>家族に相談した（親・兄弟・姉妹など）</td><td>29.2</td><td>41.7</td></tr><tr><td>友人・知人に相談した</td><td>29.2</td><td>33.3</td></tr><tr><td>警察に連絡・相談した</td><td>16.7</td><td>0.0</td></tr><tr><td>市役所の相談員に相談した</td><td>8.3</td><td>0.0</td></tr><tr><td>他の公的な機関に相談した</td><td>8.3</td><td>0.0</td></tr><tr><td>民間の機関（弁護士会など）に相談した</td><td>8.3</td><td>0.0</td></tr><tr><td>人権擁護委員または人権相談の窓口相談した</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>医師に相談した</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>その他</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>どこにも・誰にも相談しなかった</td><td>50.0</td><td>25.0</td></tr></tbody></table> 令和7年 東かがわ市男女共同参画に関する市民意識調査結果より	相談相手	R7/今回調査(n=24)	R2/前回調査(n=12)	家族に相談した（親・兄弟・姉妹など）	29.2	41.7	友人・知人に相談した	29.2	33.3	警察に連絡・相談した	16.7	0.0	市役所の相談員に相談した	8.3	0.0	他の公的な機関に相談した	8.3	0.0	民間の機関（弁護士会など）に相談した	8.3	0.0	人権擁護委員または人権相談の窓口相談した	0.0	0.0	医師に相談した	0.0	0.0	その他	0.0	0.0	どこにも・誰にも相談しなかった	50.0	25.0
相談相手	R7/今回調査(n=24)	R2/前回調査(n=12)																																
家族に相談した（親・兄弟・姉妹など）	29.2	41.7																																
友人・知人に相談した	29.2	33.3																																
警察に連絡・相談した	16.7	0.0																																
市役所の相談員に相談した	8.3	0.0																																
他の公的な機関に相談した	8.3	0.0																																
民間の機関（弁護士会など）に相談した	8.3	0.0																																
人権擁護委員または人権相談の窓口相談した	0.0	0.0																																
医師に相談した	0.0	0.0																																
その他	0.0	0.0																																
どこにも・誰にも相談しなかった	50.0	25.0																																

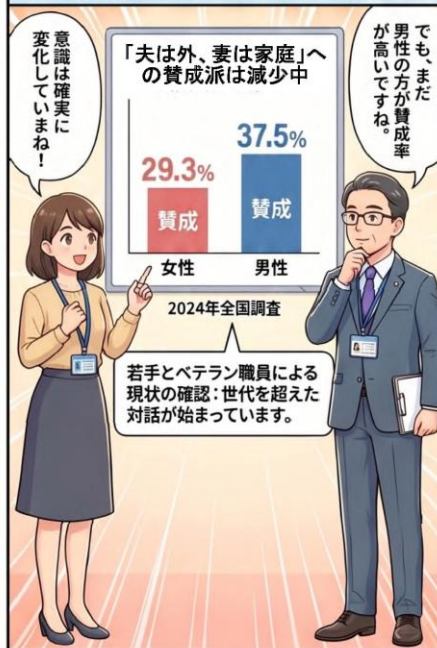
だいもん 第8問	せいとしやうすうしや かたがた せいかつ かん りゆう ひがしかがわし 性的少数者の方々が生活しづらいと感じる理由として、東かがわ市 の調査で前回より増加した回答は何でしょうか？																																									
せいかい 正解（こたえ）	②																																									
かいせつ 解説（せつめい）	「 ^{へんけん さべつ} 偏見・差別がある」ことに加え、「 ^{くわ そうだん} 相談できない」「 ^{もんだいかいけつ てだすけ} 問題解決の手助け をする仕組みが ^{し しく ふじゅうぶん} 不十分」といった行政への ^{ぎやうせい} 期待と ^{きたい げんじやう} 現状のサービス ^{ふそく かいぜん} 不足を改善してほしいという声が増えています。																																									
	図表 93 性的少数者が生活しづらいと思う理由（全体、前回比較／複数回答） The chart displays 14 reasons for feeling that the lives of sexual minorities are difficult. For each reason, two bars are shown: a dark blue bar for R7/Current Survey (n=192) and a white bar for R2/Previous Survey (n=169). The x-axis represents the percentage of respondents, ranging from 0% to 90%. <table><tr><th>理由 (Reason)</th><th>R7/今回調査 (n=192) (%)</th><th>R2/前回調査 (n=169) (%)</th></tr><tr><td>偏見・差別がある</td><td>81.8</td><td>75.7</td></tr><tr><td>周囲の人の理解が得られない</td><td>65.6</td><td>77.5</td></tr><tr><td>いじめ（悪口、いやがらせなど）を受ける</td><td>42.7</td><td>42.6</td></tr><tr><td>自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要される（トイレ、着替え、服装など）</td><td>42.7</td><td>35.5</td></tr><tr><td>夫婦と同様に、同性パートナーとの関係を認めてもらえない</td><td>41.7</td><td>34.3</td></tr><tr><td>法整備が不十分である</td><td>40.6</td><td>35.5</td></tr><tr><td>カミングアウト後、周囲の態度が変化する</td><td>38.0</td><td>39.6</td></tr><tr><td>家族、友人など周囲の人に相談できない</td><td>37.5</td><td>34.3</td></tr><tr><td>申請などの性別について、記入を求められる</td><td>30.2</td><td>18.9</td></tr><tr><td>行政機関などの相談・支援体制が不十分である</td><td>29.2</td><td>27.2</td></tr><tr><td>就職、仕事、待遇などで不利・不当な扱いを受ける</td><td>25.0</td><td>23.1</td></tr><tr><td>その他</td><td>1.6</td><td>1.2</td></tr><tr><td>わからない</td><td>3.6</td><td>1.8</td></tr></table> 令和 7 年 東かがわ市男女共同参画に関する市民意識調査結果より	理由 (Reason)	R7/今回調査 (n=192) (%)	R2/前回調査 (n=169) (%)	偏見・差別がある	81.8	75.7	周囲の人の理解が得られない	65.6	77.5	いじめ（悪口、いやがらせなど）を受ける	42.7	42.6	自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要される（トイレ、着替え、服装など）	42.7	35.5	夫婦と同様に、同性パートナーとの関係を認めてもらえない	41.7	34.3	法整備が不十分である	40.6	35.5	カミングアウト後、周囲の態度が変化する	38.0	39.6	家族、友人など周囲の人に相談できない	37.5	34.3	申請などの性別について、記入を求められる	30.2	18.9	行政機関などの相談・支援体制が不十分である	29.2	27.2	就職、仕事、待遇などで不利・不当な扱いを受ける	25.0	23.1	その他	1.6	1.2	わからない	3.6
理由 (Reason)	R7/今回調査 (n=192) (%)	R2/前回調査 (n=169) (%)																																								
偏見・差別がある	81.8	75.7																																								
周囲の人の理解が得られない	65.6	77.5																																								
いじめ（悪口、いやがらせなど）を受ける	42.7	42.6																																								
自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要される（トイレ、着替え、服装など）	42.7	35.5																																								
夫婦と同様に、同性パートナーとの関係を認めてもらえない	41.7	34.3																																								
法整備が不十分である	40.6	35.5																																								
カミングアウト後、周囲の態度が変化する	38.0	39.6																																								
家族、友人など周囲の人に相談できない	37.5	34.3																																								
申請などの性別について、記入を求められる	30.2	18.9																																								
行政機関などの相談・支援体制が不十分である	29.2	27.2																																								
就職、仕事、待遇などで不利・不当な扱いを受ける	25.0	23.1																																								
その他	1.6	1.2																																								
わからない	3.6	1.8																																								

だいもん 第9問	はたらきかたいかく だんじょきょうどうさんかく すす 働き方改革とセットで男女共同参画を進めることは、市の未来にど かか う関わりますか？
せいかい 正解（こたえ）	②
かいせつ 解説（せつめい）	せいさんねんれいじんこう さい さい ひと へ なか じょせい ふく 生産年齢人口（＝15歳から64歳までの人）が減る中で、女性を含む たよう じんざい 多様な人材（＝さまざまな特技や技能をもった人たち）がそれぞれの のうりよく はつき ひがしかがわし じそくかのう はってん 能力を発揮できることは、東かがわ市の持続可能な発展にとって、と たいせつ だんじょきょうどうさんかく たん だんじょびょうどう おとこ ても大切なポイントです。男女共同参画は単なる男女平等（＝男の ひと おんな ひと たちば ひと わ へだ みな たいせつ そんざい 人も女の人、どんな立場の人、人も分け隔てなく、皆が大切な存在であ かなが かた もんだい ひがしかがわし ちいきけいざい じんこう るという考え方）の問題ではなく、東かがわ市の「地域経済・人口 げんしょうたいさく ひがしかがわし いま す ひと ふ げんき 減少対策（東かがわ市が今よりもにぎわって、住む人が増えて元気な まち とりく い 街になるようにする取組みのこと）」そのものであると言えます。 

だいもん 第10問	ひがしかがわし だんじょきょうどうさんかく 東かがわ市の男女共同参画は、これまでの「意識啓発」中心の段階 から、なにをめざす段階へ移行しようとしているのでしょうか？
せいかい 正解（こたえ）	①
かいせつ 解説（せつめい）	「意識は変わったが行動が変わらない」のは、個人のせいだけではなく、働き方や家庭内分担の「社会構造（仕組み）」が古いままなのが原因の一つです。次期第4次 東かがわ市男女共同参画基本計画（令和9～令和13年度の5年間）では、この社会の仕組みそのものを変える「社会実装」を重視しています。 これからも、男性も女性も、若い人も高齢者もみんなが活躍できる 東かがわ市になるように、みんなが一緒に考えて実際に行動していくことが大切じゃ。

東かがわ市の男女共同参画の現在地

第1話：変わりゆく意識



第2話：経済面に隠れる格差の壁

香川県における男女の賃金格差「75%の壁」



香川県全体で、女性の月給は男性の約75%にとどまっています。



第3話：家庭内の「認識のズレ」と育休の壁



第4話：社会構造の実装段階へ

